

「救急統計活用検討会」の発足

消防庁では、救急業務統計として救急業務全般に関するデータを、ウツタイン統計として心肺機能停止傷病者の救急搬送に関するデータをそれぞれ収集しています。

これらの統計をより有効に活用するため、昨年度の「救急統計活用検討会」においては、救急搬送者に関するより適切な年齢区分や疾病分類、新たに社会復帰率を算出することによる救急救命処置の効果、救急調査オンライン処理システムを活用した救急搬送サーベイランス情報の収集等について検討を行いました。

今年度の検討会では、「救急業務高度化推進検討会」で議論されている「消防機関と医療機関とのデータの連結」を可能とし、より効果的な統計活用のあり方及び活用方策について検討する予定です。

第1回検討会については、平成21年10月9日（金）に開催することになりましたのでお知らせいたします。

1 主な検討内容

- ・ 消防機関と医療機関とのデータを連結してより効果的な救急統計のあり方及び活用方策について検討を行う。
- ・ 救急調査オンライン処理システムを活用した、新型インフルエンザ発生時などの救急搬送サーベイランス情報の収集、消費者等の安全の確保につながる救急事故情報の収集のあり方について検討を行う。

2 日 時

平成21年10月9日（金）14時00分から16時00分まで
第1回検討会を開催します。

3 検討会構成員等 別紙1参照



(連絡先)

消防庁救急企画室

担当：森田補佐、溝口専門官、梅澤係長

電話：03-5253-7529

FAX：03-5253-7539

別紙 1

救急統計活用検討会 構成員

(五十音順・敬称略)

- 朝 日 信 夫 (元救急振興財団副理事長)
- 岩 佐 智 生 (愛知県防災局消防保安課主幹)
- 岡 村 智 教 (国立循環器センター予防検診部部長)
- 齊 藤 英 一 (東京消防庁参事・救急部救急管理課長)
- 坂 本 哲 也 (帝京大学医学部救命救急センター教授)
- 佐々木 靖 (札幌市消防局警防部救急課長)
- 長 尾 建 (日本大学医学部駿河台病院循環器内科教授)
- 平 出 敦 (京都大学大学院医学研究科医学教育推進センター教授)
- 藤 井 茂 樹 (大阪市消防局警防部救急担当課長)
- 堀 進 悟 (慶応大学救急医学教授)
- 三 木 淳 (松阪地区広域消防組合消防本部総合指令室長)
- 横 田 裕 行 (日本医科大学救急医学主任教授)
- 山 本 保 博 (東京臨海病院院長)